

S-GAPの取組拡大

【予算額】15,734千円

新規

担当 農産物安全課 安全生産・有機担当
内線 4049

目的

多くの農業者が取り組みやすく、国際水準GAPにも対応した新たなS-GAP制度を作り、農業者が取組の段階に応じた指導・支援が受けられるようにすることで、安全で効率的な農業経営を実現するとともに、安全安心な県産農産物を供給する。

事業概要

1 S-GAPの取組拡大

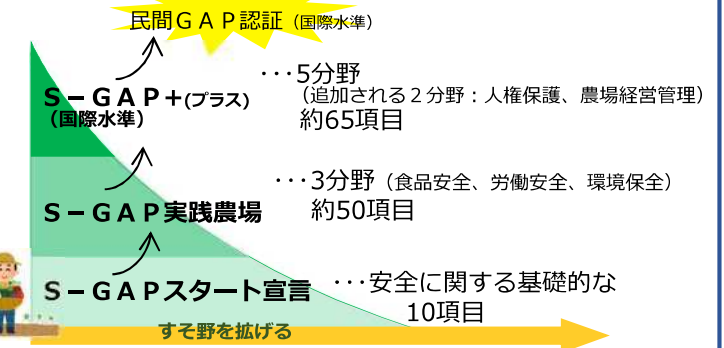
15,734千円

(1) S-GAPスタート宣言による取組の拡大(新規) 7,401千円

まずは取り組み始めることを宣言してもらい、生産者に対して取組の段階に応じた指導を行う。

- 取組の段階に応じた、新たな確認・評価制度の創設・周知・運営
- S-GAP取組好事例集を作成し指導に活用
- ステップアップのための現地研修会・セミナーの開催
- S-GAP指導員・評価員の育成による指導体制整備

● 農業者の取組の段階に応じた新たな確認・評価制度



(2) 国際水準GAPへの対応(新規) 3,739千円

国際水準GAPガイドラインへ対応した基準書を作成し、民間GAP認証取得の足掛かりとなる指導をする。

- S-GAPガイドライン改定・管理
- 追加される2分野(人権保護・農場経営管理)の指導を強化するための専門家派遣(社会保険労務士等)
- 環境負荷低減に取り組む団体におけるGAP認証取得支援

(3) 販路拡大に向けた働きかけ(新規) 4,594千円

SDGsの実現に貢献するGAPの取組を含めた環境保全型農業を食品流通・加工業者にPRするとともに、民間事業者と連携し、消費者にPRする。

- 応援店舗におけるポスター等を活用した普及・啓発活動
- 啓発用S-GAPロゴマークを活用したPR
- 民間企業と連携した環境にやさしい農産物PRイベントの開催
- 学校給食の食育活動を通じた子育て世帯へのPR